

Splashtop – Microsoft Entra ID (Azure AD) 構成の変更

Microsoft は **Azure AD** の名称を **Entra ID** に変更しています。同様に、**Office 365** は **Microsoft 365** に変わります。本書では、可能な限り Microsoft サービスを推奨名称で表記しています。

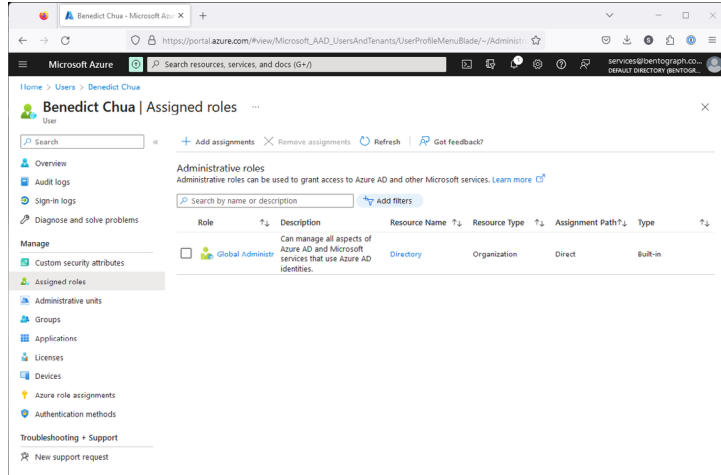
Microsoft Entra ID とユーザーを同期する

Entra ID のユーザー同期を機能させるには、十分な権限と有効な Microsoft 365 ライセンスの両方を持つ管理者ユーザーが必要です。

– 管理者ユーザーには、グローバル管理者ロール、またはクラウドアプリケーション管理者ロールとユーザー管理者ロールの両方が割り当てられている必要があります。

ロールを構成する

Entra ID で「ユーザー」に移動し、Foxpass の同期に使用するアカウントを選択します。同期を許可するため、このアカウントに十分な権限（グローバル管理者など）を割り当てます。



Entra ID との Foxpass 同期を構成する

Foxpass ダッシュボードで Foxpass のドキュメントに従い、Foxpass が Entra ID と同期することを承認します。

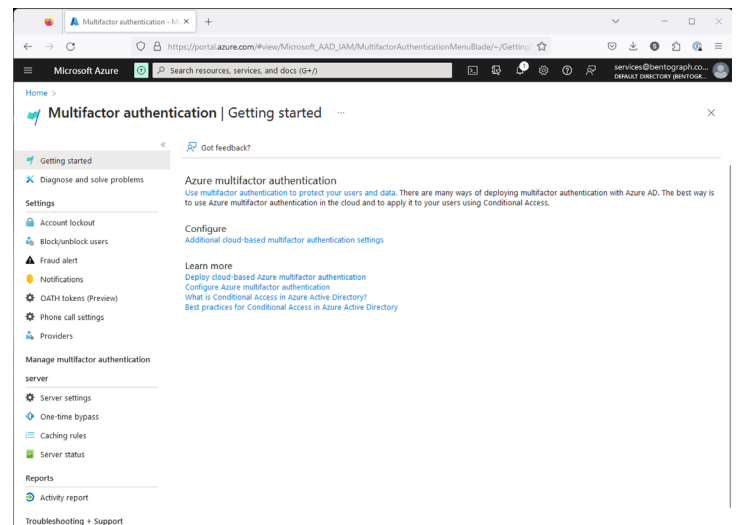
[Foxpass を設定してディレクトリを Office 365 と同期する方法については、こちらをご覧ください。](#)

ユーザー認証に Entra ID を活用する

Entra ID 多要素認証の信頼できる IP アドレスを構成する

Foxpass の委任認証を有効にする前に、Foxpass の IP アドレスを信頼するよう Entra ID を構成する必要があります。

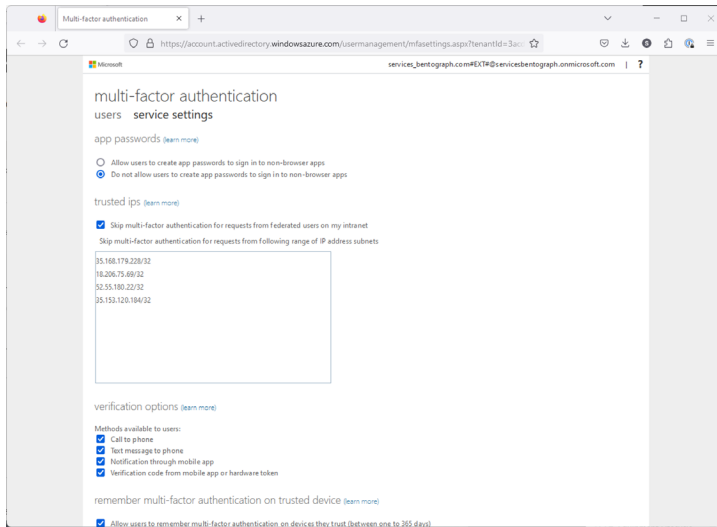
Entra ID ダッシュボードで **Multifactor authentication** に移動し、信頼できる IP アドレスを構成します。**Configure** の下にあるリンクをクリックして、**Additional cloud-based multifactor authentication settings** を設定します。



Skip multi-factor authentication for requests from following range of IP address subnets に Foxpass の IP アドレスを入力します。

[Foxpass の IP アドレス]

35.168.179.228/32
18.206.75.69/32
52.55.180.22/32
35.153.120.184/32

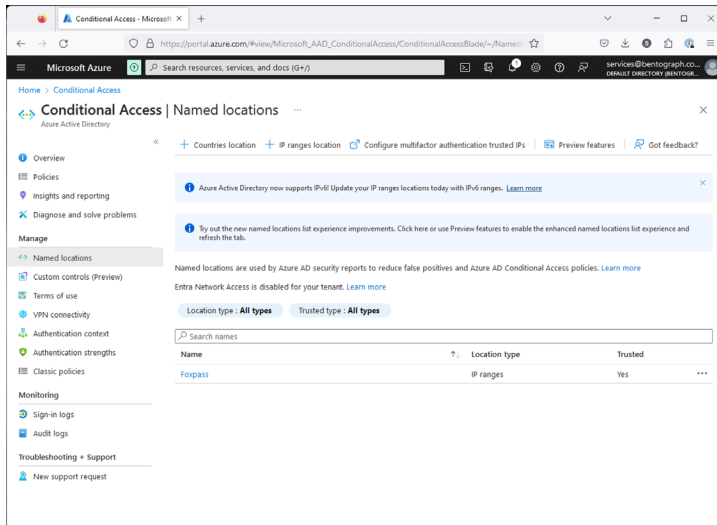


条件付きアクセスのネームド ロケーションを構成する



Entra ID では、既定で強力な多要素認証が適用されます。Foxpass が MFA をバイパスしてユーザーの資格情報を確認できるよう、条件付きアクセス ポリシーを構成する必要があります。

Entra ID で **Conditional Access | Manage | Named Locations** に移動し、**IP ranges location** を定義します。



ロケーションに **Foxxpass** という名前を付けます。信頼できる IP アドレスのウィンドウで使用したものと同じ値で、ロケーションの IP 範囲を構成します。

35.168.179.228/32
18.206.75.69/32
52.55.180.22/32
35.153.120.184/32

セキュリティの既定値群を無効にする

条件付きアクセス ポリシーを実装するには、まずセキュリティの既定値群を無効にする必要があります。セキュリティの既定値群が有効な場合は、[こちらの手順に従って無効にしてください](#)。

条件付きアクセス ポリシーを作成する

前の手順で定義した **Foxxpass** ロケーションの IP 範囲は、ポリシーで使用して初めて有効になります。この手順では、**Foxxpass** の IP 範囲からの要求に対して MFA のバイパスを許可するポリシーを作成します。

同じ **Conditional Access** セクションで **Overview** に切り替え、**Create new policy** を選択します。

次の値でポリシーを構成します。

Name: Foxxpass

Conditions | Locations:

- Configure: **Yes**

- Include: **Selected locations**

- Select: **Foxxpass**

Grant:

- Block/Grant access: **Grant access**

- Require multifactor authentication: **[X] (チェック ボックス)**

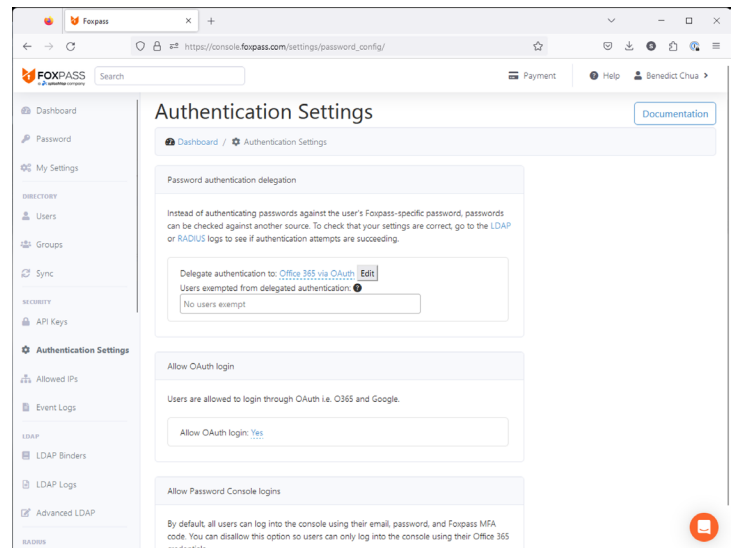
Enable policy: **On**

Create を選択します

Entra ID / Foxxpass のパスワード委任を有効にする

Foxxpass ダッシュボードで、パスワードの検証を **Entra ID** に委任するよう **Foxxpass** を設定して、手順を完了します。

Foxxpass の [Authentication Settings](#) ページに移動し、「**Password authentication delegation**」までスクロールします。ドロップダウンメニューから **Office 365 via OAuth** を選択し、「**Save**」をクリックします。



認証フローを検証する

Entra ID で定義され、**Foxxpass** との同期が構成されている任意の管理者アカウントまたはユーザー アカウントで、企業ネットワーク (Foxxpass RADIUS 認証用に設定済み) にログインします。